

も同じような視野で調べてみたら、何らかの関係が求まるかもしれない。

## 12. さけ・ます漁場の海況

進士福太郎(気象庁)

鮭鱒船団の水温などの資料を各層に分け、旬ごとに1度柵目平均して、漁場の東西、南北方向の推移などを調べたので、ここでは一資料という意味あいで表面と50m層の水温について報告する。

### (1) 東西方向(50°~51°N, 160°~174°E)

表面水溫 潮境は165°Eないし166°Eに見られ、水溫は東高西低でその差は1°C内外(はつきりしている時期は6月上旬前半頃と7月上旬後半頃)になつている。

前年との差 6月中旬頃までは昨年より高めのところもあるが、概ね昨年より低め(7月上旬頃から1°C以上)に経過している。

50m層水溫 潮境は5月下旬頃は166°E付近に、7月中旬頃は163°E付近に見られ、水溫は東高西低でその差が1°C以上のところもある。

アリューシャンにそつて西進する暖水は見られないが、6月中旬頃から北上する暖水が目立っている。

前年との差 中央部が高く、166°E付近は昨年より高、低、高、低、高と変つている(高(低)は高(低)温)。

50m層の5月 5月下旬の潮境は166°E付近に見られ、表面と50  
下旬と7月中旬の m層の水溫の差は小さい。  
水溫鉛直分布

7月中旬の潮境は5月下旬とあまり変わっておらず、躍層は30m付近で50m層の水温は5月下旬からあまり昇温していない。

(2) 南北方向 (46°~53°N, 167°~168°E)

表面水温 6月中旬以前と7月中旬以後を除けば、北と南の水温の差は小さい。

7月中旬後半以後49°N 付近に北上する暖水の一部が見られる。

前年との差 50°N 以北は6月中旬頃まで、49°N 以南は5月下旬頃まで本年の方がやや高く、その後は昨年の方が高めになっている(7月中旬50°~52°Nは昨年より1.5℃以上低い)。

50m層水温 52°N 以北の水温は7月下旬まであまり変わっていない。6月中旬頃から北上する暖水が目立っている。

前年との差 6月下旬の52°N 付近と7月上、中旬の51°N 付近の水温は昨年より低いが、そのほかのところは本年の方が高めに経過している。

5℃線に対応して本年47°~50°N水域が6月中旬以降1.5℃内外高めになっている。

(3) 旬平均水温 水平分布の前年との差

表面水温は昨年より低めに経過していて、7月以降著しい。

50m層水温は昨年並ないし高めのところが多く、特に7月以降の南部水温は昨年より高めに経過している。